

氏名 伊藤 薫樹

所属 岩手医科大学附属病院

役職 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群 WG 副代表、血液腫瘍内科教授、
医師卒後臨床研修センター長

これまでのキャリア

北海道小樽市出身、岩手医科大学 1991 年卒です。

岩手医科大学附属病院で初期研修を行い、岩手医科大学血液腫瘍内科で研鑽を積み、学位取得後に研究の目的で米国インディアナ大学に2年間留学しました。現在は内科学講座血液腫瘍内科分野教授、がんセンター長、医師卒後臨床研修センター長を務めています。

私のもとではこれが学べる

これまで主に血液悪性腫瘍に対する薬物療法と造血幹細胞移植を行ってきました。血液疾患の治療は全身管理が求められます。しっかりとした知識に基づいた全身の評価とエビデンスに基づいた患者ごとの治療方針の立案およびマネージメントの基本を教えるようにしています。

教育にかける思い

教育には意欲的に学ぼうとするモチベーションと学べる環境が必要であることは言うまでもありません。自らが学ぶ姿勢を引き出し積極的に研修に取り組める環境を整え、病める患者を前に自らの“気づき”を導くことが教育の根幹だと思っています。

医学生へのメッセージ

これまでの研修医の意見を取り入れ学びやすい研修プログラムを構築してきました。指導医のみならず様々なスタッフが一人の研修医を大切に育てる気持ちを持って指導にあたっています。プライマリーケアから高度医療まで広く学べる多様性の豊かな環境で是非一緒に研修をしましょう。